

2022年(令和4年)
3月21日 曜日
第1877号

京都自動車新聞



京ト協ら 物流構築へ協力要請
京整振 ハンナリーズとパートナー契約
特定整備実態調査(全国・京都)
JAF 京都支部が感謝状を贈呈
◀ 京阪バスが公民連携を強化

2
4
5
6
3

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町 51-5 (京都自動車会館内) 電話 (075) 672-0552 ファクス (075) 682-0205 メール access@kyotojidoshanp.jp https://kyotojidoshanp.jp

経済原則の上で持続可能に

京都府は2022年度当初予算で、EV(電気自動車)・PHV(プラグインハイブリッド車)タウン推進事業に911万円で充て、電動車の普及に向けた取り組みを加速させる方針を内外に示した。京都府自動車整備政治連盟(城谷忠会長)は、2月28日に開かれた西脇隆俊京都府知事との会談で、「(電動車の普及には)長い目で見た新たな一手が必要」と指摘。これに対し、西脇知事は「確かにブレークスルーは不可欠。ただし、経済原則にのっとらないとサステナブルにならない」との認識を示し、脱炭素はあくまで民間主導を前提とする姿勢を貫いた。

整政連と西脇知事 脱炭素・EVめぐり会談



(左から) 嶋理事、城谷会長、西脇知事、前原衆院議員

府は22年度、1857万を計上している。EV・PHVタウン推進事業は、この枠組みのうちの一つで、いずれも一昨年に策定された「第3次京都府環境基本計画」に基づくもの。30年をめぐりにグリーンな地域経済システムを構築し、50年ごろに「脱炭素で持続可能な社会」を実現させるシナリオだ。席上で整政連の嶋雅明理事は、日本自動車工業会と同様、カーボンニュートラル(実質的な二酸化炭素排出量をプラスマイナスゼロにする概念)への道筋はEVだけに限らないことを強調。一方で、EVの世界的な普及は、電力の逼迫や電池の原材料となるレアメタルの調達難などを引き起こす恐れがあるともされる。嶋理事は「例えば大雪でEVが立ち往生すれば、引き上げの労力はガソリン車の比ではない。集合住宅での電力確保、物流のための充電インフラなども優先的に措置してほしい」とし、包括的で複合的な施策の必要性を訴えた。

25事業場が栄誉に輝く

自動車整備優良事業者表彰

2021年度自動車整備優良事業者近畿運輸局長表彰、同京都運輸支局長表彰を受賞した25事業者が11日に表彰された。局長表彰は7事業者、支局長表彰は18事業者。受賞者は次の通り(順不同・敬称略)

- 【近畿運輸局長表彰】
- ▽(株)アオキオート商会
- ▽ウチダ自動車工業(株)
- ▽岡田モータース(岡田康寛)
- ▽(有)河村モータース
- ▽銀鈴タクシー(株)
- ▽サカ自動車(仲義典)
- ▽南村自動車工業(株)
- 【京都運輸支局長表彰】
- ▽井上自動車(井上光和)
- ▽オートオカダ(岡田年弘)
- ▽オートサービスマ(木下誠市)
- ▽オートワークス京都(大槻芳久)
- ▽大西自動車整備(大西俊正)
- ▽(株)オクムラ自動車(河原林尚)
- ▽京和タクシー(株)第2営業部
- ▽(株)城陽モータース
- er Energic

「勇往邁進」掲げ

AJA 次年度方針発表

京都自動車青年会議所(AJA)は、城谷元喜会長(ホテルグランヴィア京都)が、定期総会と2月例会をハイブリッド方式で開き、総会では全体的な議案を承認。渡邊努次年度会長が掲げた「勇往邁進」のスローガンのもと、各種事業を積極的に実施する。



「勇往邁進」をスローガンに掲げ、各種事業を進めていく。予算は518万円あり。

例会では、会員が、日常生活や仕事上の失敗談を発表するスピーチ例会を実施。発表者からは様々な失敗談が紹介され、情報を共有することで、失敗を未然に防ぐ術を学んだ。

設備が150基ほどしかない。京都にはEV部品をつくる企業も多い。普及させるとなると大手の力を借り、社会貢献としてインフラを整備してもらう形が望ましい。そのため受け皿となる仕組みが必要だ」と回答。

追跡データベース
— 東京商工リサーチ編 —
休みました。

総会では、渡邊次年度会長が、事業方針、事業計画、組織構成、予算を説明。事業方針では、京都の自動車業界を盛り上げ牽引していくために、恐れることなく目的や目標に向かってひたすら前進するという意味を持つ

NEW NOAH

トヨタカーを京都

■本社所在地/京都市中京区西ノ京南大炊御門町1-1 【URL】https://www.corolla-kyoto.com/

■定休日/毎週水曜日 ■TEL 075-463-1111 ■FAX 075-464-8714